




平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【宮城県】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	山元町立山下中学校 全学年（全校生徒 214名） 第1学年（男29名 女37名 計66名） 第2学年（男39名 女42名 計81名） 第3学年（男41名 女26名 計67名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（図書室経営による啓発活動） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	オリンピック・パラリンピックの意義や歴史について啓発を図り、自らが進んでスポーツを楽しみ・参画する態度を育成し、自国開催となる東京大会を成功させる気運を高める。
5 取組内容	1 図書室経営の充実（歴史・意義の啓発）   オリ・パラ関連図書を蔵書に加え、「TOKYO 2020」コーナーを開設し東京大会へ向けての啓発を図った。   生徒会図書委員会作成による、「山中くんの3分で分かるうんちく帳」をコーナーに加え、オリンピック・パラリンピック東京大会へ向けて、興味・関心の高揚を図った。

2 スポーツこころのプロジェクト「笑顔の教室」の実施
 総合的な学習の時間を活用して、2学年（3学級）において「スポーツ笑顔の教室」を実施した。元Jリーグで活躍した『安永聡太郎』さん、『佐藤陽彦』さんを夢先生としてお招きし、1学級2時間扱いで授業を行っていただいた。



3 地域への本事業の広報活動

学校だよりを中学校区全ての家庭へ回覧し、本事業の展開の様子を周知している。また、PTA行事等で保護者が来校した際に、図書室の利用を進め「TOKYO 2020」コーナーの紹介を行った。

6 主な成果

- 図書室経営の充実を図った結果、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心の高揚を図ることができた。
- 「スポーツ笑顔の教室」では、一流アスリートと直接触れ合うことで、スポーツへの理解・参加意欲の向上が図れた。また、自己の生き方について「志」をもつ契機となった。
- 地域への情報発信により、本事業を通して「開かれた学校」経営への一助となった。

7実践において工夫した点（事業の特色）

オリンピック・パラリンピックへの憧れや畏敬の念をもたせることで、自らの夢の実現に向け前進する生徒の育成を意識し本事業を推進した。本県が推進する「志教育」との関連を図りながら事業を展開した。

8主な課題等

オリンピック・パラリンピック自国開催に向けての意識付けは図ることができたが、自らが進んでスポーツを楽しみ・参画するという実践的な取組までには至っておらず、今後の具体的な事業の推進計画を検討していかなければならない。

9来年度以降の実施予定

オリンピック・パラリンピック開催のホスト国として、日本の伝統・文化や世界の文化への理解を深め、地域や人種による偏見のない共生社会を築いていく態度の育成を図っていきたい。
 また、自らが積極的にオリンピック・パラリンピックに参画できる具体策を生徒の力で考えさせ、国全体で大会を盛り上げる気運をつくっていきたい。